

大里中学校だより



温故知新

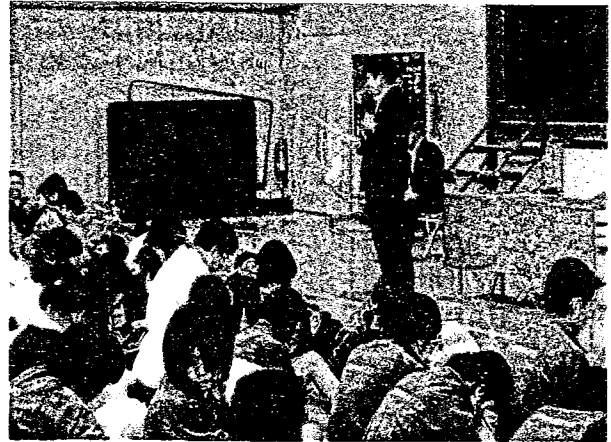
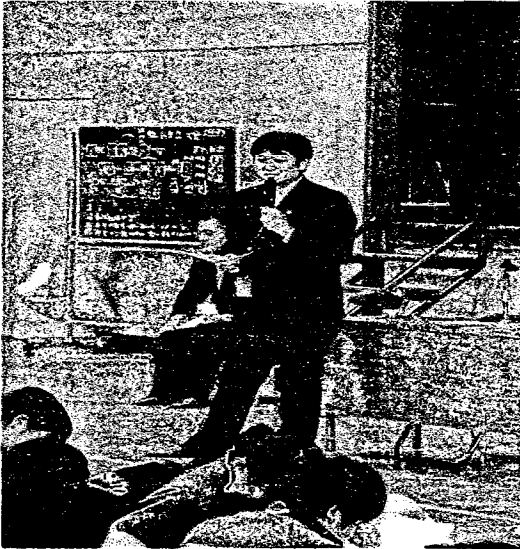
学校教育目標

「郷土を愛し、21世紀を力強く生きる生徒の育成」

向学(ともに学ぶ生徒) 優雅(心豊かな生徒) 克己(ともに戦える生徒)

「5月21日に 前期人権集会を開催」

5月21日(月)第5校時に、前期人権集会を開催しました。今回は、講師に熊谷市教育員会社会教育課小島直樹先生をお招きし、「私たちに、できること」というテーマで御講話をいただきました。講話をお聴きして、各クラスでは、それぞれが、人権についての考えや行動についてまとめてもらいました。



【小島直樹先生による講話】
(わたしたちに、できること)

講話の概要

人権とは、「誰でもが幸せに生きるための権利」

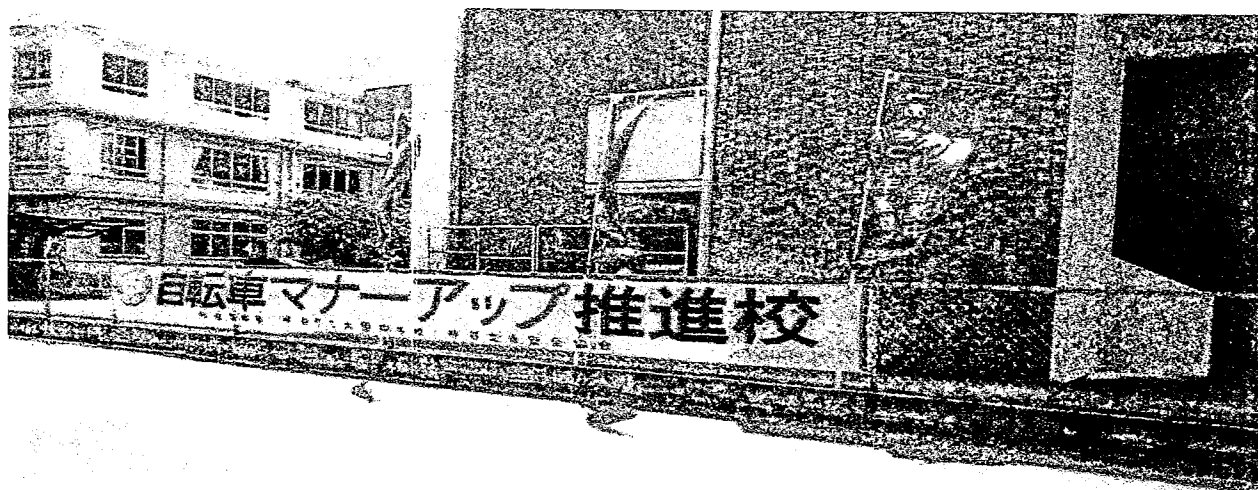
↑
誰にも侵すことのできない権利

人権感覚とは、「それって差別じゃない!」「おかしいよ」
とを感じる心・気づける知識・判断できる感覚

人権を尊重するために、「真実を見抜く力」「正しい理解」「同じ判断基準で行動」が大切。
そして、差別に出会ったとき→「それ差別(いじめ)だよ、やめなよと言える生徒になる。」

【講話の感想と人権問題で自分自身にできること】

今日講演を聞いて、直さなければならないことがたくさんありました。主に配られたプリントの中の「よく見てみよう」などのところで、気づかない問題があって、人に気づかれなくても誰かの心は傷ついているようなこともなるのでは、と思いました。最後の方になでしこジャパンの澤選手が小学生の頃、学校でいじめられていた、という話があって私は、そのことを知らなかったのですが、澤選手は、頑張っても女子だから、という理由で試合に出場させてもらえなかったというところで深く傷ついた上に学校の同級生で、しかも女子にいじめられたことでもう立ち直れないのではないかと考えたのですが、それでも澤選手は今、なでしこジャパンで大きな勝利を手に入れて、とてもすごいと思いました。澤選手は、誰にでもすごくていいに接するとテレビで聞きましたが、これまでの経験がそうさせているのだとも思いました。私は、講演を聞いて今私たちにできることはたくさんの人と仲良くすることだとも思いました。学校のいじめは、絆の輪でなくせると思います。(2年生女子)



【平成24年度自転車マナーアップ推進校】

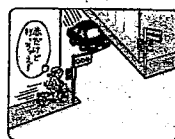
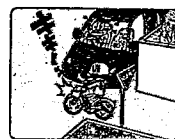
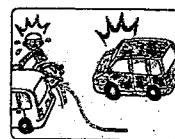
埼玉県内の交通事故死者数は、4月30日現在67人（前年比+4）全国ワースト2位と誠に憂慮すべき状況であり、全国的に通学中の児童生徒が亡くなる悲惨な交通事故が多発しています。特に、自転車事故による死者数にあっては、昨年中は中学生が全国ワースト3位（732人）高校生が全国ワースト3位（1,405人）と憂慮すべき状況にありました。本校でも、大きな事故にはなっていませんが、自転車による交通事故が毎年発生しています。自転車の乗り方、交通ルール、交通マナーの遵守による自転車事故防止は大きな課題の一つです。このような状況の中で本年度、大里中学校は、熊谷警察署より自転車マナーアップ推進校の指定を受けました。この機会に、交通事故防止についての正しい知識を身につけ、安全で事故に遭わない自転車マナーアップを図りたいと考えていますので、生徒のみなさんは、事故防止の知識や技能をより確かなものとして身につけてください。交通ルールやマナーについては、学校でも指導していますが、保護者の皆様の御指導と御協力をいただきたくお願い申し上げます。

《 自転車事故はどうしておきるのでしょうか 》

小さくてスピードの出る自転車は、車から見落とされやすく、それが原因で事故に結びつくという大変危険な面を持っています。しかし、実際には車だけが悪いのではなく、自転車が原因でおきる事故も多いのです。どうして自転車事故が起こるのでしょうか。大きな事故がおくる原因として、「安全不確認」「一時不停止」「信号無視」、「前方不注意」、「運転操作の誤り」などがあげられます。交通ルールを守らなかったことによる事故は、自転車を運転して人にも責任があります。また、ヘルメットは、自分の命を守る大事な道具であることは言うまでもありません。

《 自転車事故をおこす原因 》

- 1 位 安全不確認
必ず安全確認を
しましょう
- 2 位 一時不停止
必ず止まって安全
を確認しましょう
- 3 位 信号無視
信号機にしたがっ
て通行しよう



金環日食観測会

5月21日（月）に金環日食観測会を校庭で行いました。前日の天気予報では曇りということでしたが、当日は天気に恵まれ、希望参加で集まった171名の生徒は、理科の先生からの説明を聞きながら、素晴らしい天体ショーを楽しみました。御家庭の御協力に感謝いたします。